

迎春

年頭のごあいさつ

有田川町長 中山 正 隆

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政に對しましてご理解とご協力をいたしておりますことに対し、心より御礼申し上げます。

昨年は、熊本地震の発生や台風10号の被害、鳥取県中部地震の発生など、日本各地で大きな災害にみまわれた一年でありました。熊本地震と台風10号の際には、皆さまから義援金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。ありがとうございました。義援金のほか、全国棚田サミットで交流のある熊本県山都町には支援物資を届けました。また鳥取県中部地震では、職員を鳥取県倉吉市に派遣いたしました。昨年11月には、当町でも地震による震度4の揺れを観測しております。年頭に当たり、今一度防災意識を高め災害に備える心を新たにしていきたいと思っております。

町内に目を向けますと、昨年2月から二川小水力発電所が運転を開始し、順調に発電を続けております。さらに、11月には経済産業省より「次世代エネルギーパーク」に認定、12月には環境省主催「第4回グッドライフアワード」において「有田川エコプロジェクト」が実行委員会特別賞に選ばれるなど、当町の環境への取り組みが評価され、「エコのまち」としての有田川町がクローズアップされた一年でありました。これから再生可能エネルギーの先進の町に向けて、住民・事業所の方々と共に進めてまいります。

当町は、その名のとおおり、有田川の恵みを受けるとともに、素晴らしい自然環境に恵まれた町です。本年も、この有田川町を魅力ある住みよい町とするために邁進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、町民皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

平成二十九年 新年のごあいさつ

有田川町議会議長 佐々木 裕 哲

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は皆さまのご支援により、議員活動に精励できましたことに対し、心から御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、リオデジャネイロで開催されたオリンピック・パラリンピックでの日本人の活躍に、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの夢と期待が膨らむ一年でありました。

一方では、4月の熊本地震や10月の鳥取県中部地震などにより、各地で甚大な被害が発生しました。被災された皆さま方に心よりお見舞いを申し上げますとともに、近い将来発生すると言われている南海トラフ巨大地震に備え、議会といたしましても町当局と一体になり、これからも防災対策に尽力してまいりたいと思っております。

そうした中、我が町では、きび森の保育所が開所し、新たな子育て支援への取り組みも始まったところでありました。少子高齢化・過疎化が加速する中、私たち議会は、人口減少を食い止め、住民の福祉向上と、安心安全のまちづくりを目指して、町民の代表としての認識に立ち、皆さま方のご意思を町政に反映させるべく、全力を尽くしたいと思います。どうか本年も変わらぬご支援とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとって明るく素晴らしい年となりますよう、また益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。